

テキストレイアウト標準化活動 の取り組み状況について

取り組みの背景

- 現在のWebブラウザでは横書きが一般的であり、縦書きを容易に実現できない
- 電子書籍やテレビ、サイネージなど、Web技術のニーズは高まっており、Webブラウザにとどまらない
- 書籍、教科書、高齢者や識字障害者向けなど、電子媒体における縦書き対応は重要
- 縦書きの表記を標準化することで、ユーザ側では利便性が向上、提供者側では安価で容易に多様なコンテンツを供給可能
- 開かれた参画プロセスの下で標準化が進められることにより、各種製品への採用・普及が期待されるとともに、特定の企業が有する技術によるロックイン等の制約を排することが可能

取り組みの体制

次世代Webブラウザのテキストレイアウトに関する検討会

ソニー、マイクロソフト、グループウェア、アンテナハウス、Access、凸版印刷、DNPデジタルコム、W3C／慶応、NTT



仕様レビュー、共同執筆および要望提案

IDPF(EPUB)



EPUB3.0はW3C CSS規格を参照



CSS-WGへ参画し要望提案

W3C
CSS-WG



W3CはUnicodeを参照

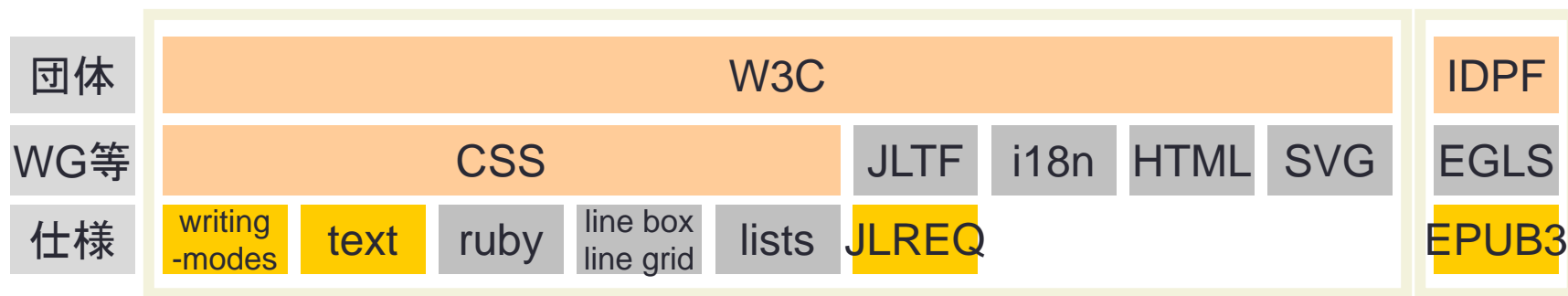


仕様レビューおよび要望提案

Unicode

標準化活動の状況

- JLREQ
 - 邦題: 日本語組版処理の要件
- Writing Modes (縦書き)
 - 文字と行の流れる方向
 - 文字の向き
 - 縦書きでのボックス計算
 - 縦中横
- Text
 - 禁則処理、行調整、下線、圏点
- EPUB (IDPF) との連携
 - 「EPUB3 CSS Profile」をEPUB WGと共同策定
 - EPUB3仕様からW3C CSSを参照
- Unicodeとの連携
 - UTR#50 Unicode Property for Vertical Text Layout



標準化活動のスケジュール

